▲シンポジウムの様子

後半のシンポジウムでは、区内で活動されている民生委員児童委員、障がい児通園施設、地域包括支援センター、障がい者相談支援事業所の方から、それぞれの日々の活動内容と、活動の中で見聞きする「制度と制度の垣根」「家族と地域の垣根」「地域と地域の垣根」についてのご報告をいただきました。

そこから見えてきたのは、様々な福祉サービスが展開されてきていても、地域で暮らしていくためには何かの支えが必要な人が確かにいることと、地域での安心した暮らしを実現するために超えなくてはならない垣根がまだ厚別区にあるということでした。

▲熱心に聴く参加者の皆さん

NPO法人にぎやかの阪井理事長からは、「まず、区内にあるそれぞれの事業所が提供するサービスの質を上げることが必要。また、それは専門家だけで解決できることではなく、地域に住む者一人一人が少しずつ垣根を低くすることも必要」という、厳しくも的確な助言をいただきました。

最近、各地で1人暮らしではないにもかかわらず、地域住民に気付かれないまま、亡くなっているのが見つかる孤立死が相次いで報道されています。

そのときに大切なのは、「〇〇が悪い」「□□がもっとかかわればよかったのに」などと悪者探しをすることではなく、このような事を防ぐために、誰もがそれぞれの立場で「自分に何ができるか」を一度考えてみて、そして実行することではないでしょうか。

誰にとっても暮らしやすい厚別区であるために、「自分にできること」はわずかでも、1人1人が自分の垣根を少しずつ広げていくことが今、求められています。

お知らせ　ご活用ください！ふくしの出前講座

札幌市ボランティア研修センターでは、ふだんのくらしのしあわせづくりを目指し、「ふくしの出前講座」を実施しています。15名以上の参加者がいれば、市内どこでも講師が皆様の地域におうかがいし、以下のようなテーマで講演いたします。

町内会の研修会、老人クラブの例会、企業の職員研修などにぜひご活用ください。

主なテーマ

- 災害時地域支え合い講座
- ふれあいいきいきサロンを作ろう
- コミュニケーションの方法
- 札幌の見守り活動最前線
- 地域向け個人情報講座
- 誰でもわかる！介護保険制度
- 上肢・下肢障がいについて
- 視覚障がいについて
- 聴覚障がいについて
- 精神障がいについて

※上記以外のテーマでも開催することができますので、ご相談ください。

お問い合わせは　札幌市ボランティア研修センター　電話 223-6005 へ